

A.I/TECの コミュニケーショングラフィック 「奴雁/DOGAN」

ICT推進のフラッグシップの象徴

V字の隊列を成し、空を自由自在に飛ぶ雁の群れ。その集団を率いるリーダーの「奴雁」は、多角的に情報を集め、逸早く危険を察知し、進むべき方向へと群れを導いていきます。その存在は、「ICT推進のフラッグシップ」である、A.I/TECの象徴となるもの。スタッフ一人ひとりが「奴雁」の勇姿を胸に刻み、常に安心安全を見守りながら、輝きに満ちた未来を目指して参ります。

Hitz
Hitachi Zosen

Hitz先端情報技術センター「エイアイテック」

建物概要

事業主	日立造船株式会社
所在地	大阪市住之江区南港北1丁目7番89号
敷地面積	16,120㎡
建築面積	843㎡
延床面積	1,627㎡
階数	地上2階
構造	鉄骨造
竣工	2018年10月1日



大阪メトロ 中央線「コスモスクエア」駅（最寄駅）

下車後、下記のいずれかの方法でご来社下さい

「バスをご利用の場合（7～8分）」

- ・日立造船専用バス
- ・サークルバス「LIXIL前」下車 徒歩1分

バス時刻表：<http://hokkohbus.co.jp/route/circlebus>

「タクシーをご利用の場合（2～5分）」

Hitz
Hitachi Zosen

Hitz先端情報技術センター
「エイアイテック」
施設・サービス案内

海から陸、 そして未来へ。

From sea to land, and toward the future.

A.I/TEC
Hitachi Advanced Information Technology Center

Web Site



Web Catalog



ICT推進のフラッグシップ

A.I/TEC

Hitachi Advanced Information Technology Center

日立造船株式会社

日立造船株式会社 ICT推進本部 Hitz先端情報技術センター

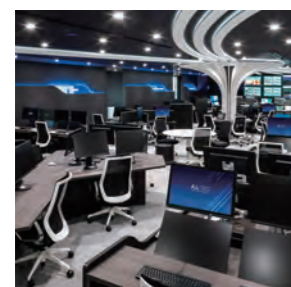
〒559-8559 大阪市住之江区南港北1-7-89 TEL. 06-6569-0301 URL. www.hitachizosen.co.jp/AITEC

ここからはじまる ICTの新たな未来。

動画も
ご覧ください ▶



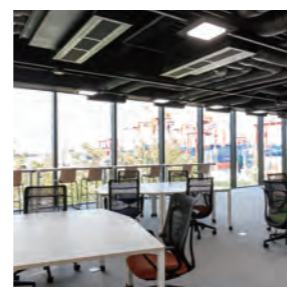
ICTの浸透によって、より豊かで、幸せな生活や社会を実現する「デジタルトランスフォーメーション」。それがAI/TEC(エイアイテック)の目指す理想の未来。IoT/ビッグデータ、AIなどのICT活用の拠点として、製品・サービスの価値を最大化するとともに、革新的な技術や新事業を創造。先端テクノロジーとソフトウェア技術を駆使し、従来の「エンジニアリング」と「ものづくり」の分野から事業企画やサービス領域へと日立造船は活躍のフィールドを大きく展開します。日立造船約140年の軌跡。それは挑戦の歴史でもあります。常に新しいものを創造し、世界に、そして未来に変革をもたらすこと。AI/TECは果敢なる挑戦者のDNAを継承し、先端技術を加速化させるフラッグシップとして、未来への舵を握っています。



遠隔監視・ 運転支援サービス

01

- ◆24時間監視で異常を予測するリアルタイムサポート
- ◆遠隔監視・データ解析によるプラント運転の安定化
- ◆データの可視化・分析やAIを活用した運転制御による発電効率の向上



IoT/ビッグデータ、 AIの開発拠点

02

- ◆当社の生産さらなる品質向上と生産性向上を実現
- ◆クラウド環境と開発環境の整備によるIoT/ビッグデータ、AI活用を加速化



開かれた共創空間

03

- ◆社外のneeds、社内のseedsとdataを有機的に融合させ、オープンイノベーションを実現
- ◆業種・分野を超えたパートナーとの連携による知の融合でWIN-WINの関係を構築

01

IoTの革新が、プラントの核心を担う

革新 < 核心

IoT革新により、プラントに進化をもたらす
遠隔監視・運転支援サービス



A.I./TECは、ごみ焼却発電施設をはじめとする発電プラントにおいて、24時間遠隔監視員を配備。ごみ焼却発電施設における遠隔監視・運転支援サービスの先駆けとして先進的な取り組みを展開しています。本施設では、「リアルサポートサービス」、「トラブル対応サービス」、「中長期解析サービス」、「運転レポート配信サービス」のさまざまなサービスが提供可能であり、高度な遠隔監視・運転支援を実施しています。また、本サービスを通じて、安全運転および発電量の最適化への取り

組みを推進しています。施設の運転に必要な電力・薬品・燃料などのユーティリティの削減をはじめ、設備の長寿命化や長期経済性に配慮したライフサイクルコストを削減。また、運転員の省人化や運転技術の伝承のサポートを実現。今後、AIによる自動燃焼制御などの遠隔監視・運転支援をはじめ、膨大に蓄積されたビッグデータの解析により、さらに高度な運用サポートを展開。IoT革新により進化した技術力が、より高次元なプラント運用の核心を担います。

A.I./TECのサービス

- ① 「リアルサポートサービス」=現場より少し先を予測し、いち早くサポートを行う
- ② 「トラブル対応サービス」=トラブル発生時の対応や現場からの問い合わせに対するデータ検証および解析業務である
- ③ 「中長期解析サービス」=中長期のデータから機器類の寿命診断や予防保全を行う解析サービス
- ④ 「運転レポート配信サービス」=各プラントの運転状況や運転班ごとの操作傾向などを定期的に配信する



A.I./TEC
Hitachi Advanced Information Technology Center

コンセプト Real Time Showcase

「魅せる空間」と「見せない機密」を両立させた空間デザイン。来訪者が監視業務を自由に見学できるようにガラスで仕切る一方、重要機密となるデータは外部から見えない特殊な工夫が施された設計となっています。

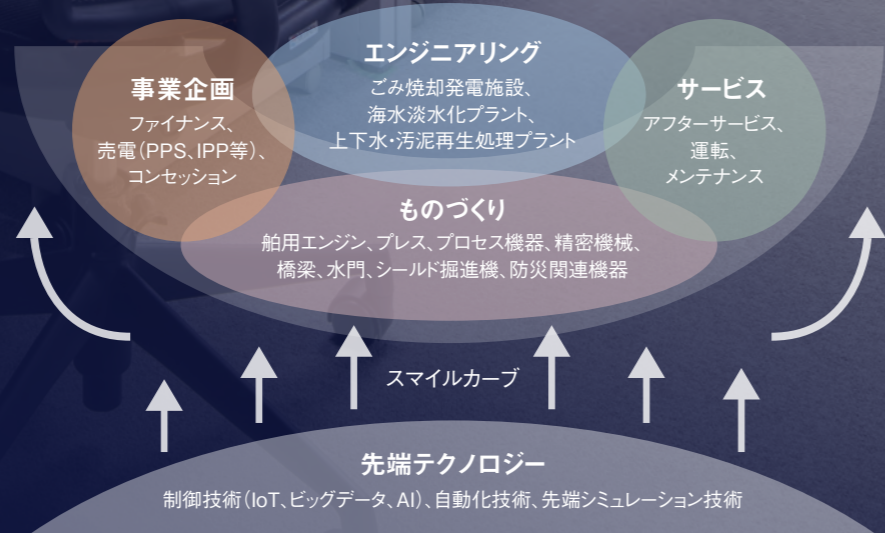
02

進化の先に、真の価値が生まれる

進化 → 真価

先端技術により製品価値を最大化する
IoT/ビッグデータ、AIの開発拠点

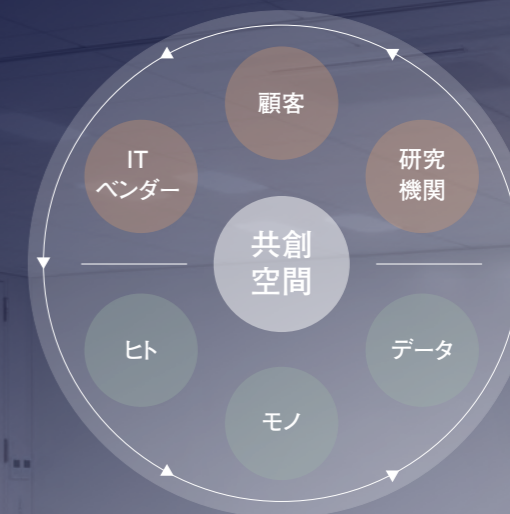
ごみ焼却発電施設などの「エンジニアリング事業領域」と、自社工場の「生産現場領域」において、デジタル革新を起こすこと。それがA.I/TECの核となる重要な取り組みです。既にデジタル化を推進するごみ焼却発電施設をはじめとする発電プラントでの実績を礎に、IoT・ビッグデータの活用基盤を構築しています。現在、A.I/TECでは遠隔監視業務のRPAによるロボット化をはじめ、ドローン制御・AIを組み合わせた新サービスの提供など、IoT/ビッグデータ、AIを駆使した多様な製品・サービスの開発を急速に展開しています。未来に向けて果敢に開発を続けること。その力が進化につながり、次代が求める真の価値を生み出すこととなります。



03

開かれた共創空間による、
新製品・新事業を生み出すイノベーションの推進

A.I/TECは、革新的なオープンイノベーションの実現を目指し、企業、大学、研究機関に向けた共創空間を開設。ヒト・モノ・データなどすべての資源を有機的に融合した空間設計で、調査研究から開発にいたるあらゆるプロセスにおいて、シームレスで連続的な活動を支援します。また共創力を強化するために提携先の技術の強みやノウハウを生かすための実験場としての機能が整備されており、共創によるシナジー効果を生むことで新技術の開発を加速させていきます。すべての研究者と技術者、そして事業者と共に。A.I/TECの共創空間は、未来を切り開く挑戦者のために、常に開かれています。



共に創る、未来への競争力

共創 × 競争